

令和4年9月定例会の概要

令和4年9月定例会は、9月6日に開会し、10月4日に閉会しました。令和4年9月定例会で決まった令和4年9月補正予算、会派所属議員が行った市政一般質問について報告申し上げます。

令和4年9月補正予算の概要

■ オミクロン株対応ワクチンの10月以降の接種準備を開始 7億620万円

新型コロナウイルス感染症の重症化予防を目的として、オミクロン株対応ワクチンの接種を開始します。



■ 生後6か月～5歳児未満児のインフルエンザ予防接種費用を助成 7,104万円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行時の医療機関診療破綻リスクを低減させるため、市内在住の児童（生後6か月～5歳児未満）を対象に予防接種に係る費用を助成します。

■ 小中学校における給食費補助を拡充・感染症対策を継続 2億8,062万円

食材料費の高騰に伴う保護者負担の軽減を図るため、給食費補助を拡充するとともに、感染症対策としてトイレ清掃の専門業者への委託を継続して実施し、児童生徒が安心して学べる教育環境の整備に努めます。



専門業者による学校トイレの清掃 2,994万円
感染リスク低減、教職員の働き方改革推進のため、学校トイレの清掃業務委託を第2学期に引き続き、第3学期も継続して実施

■ 民間児童施設等の光熱費等を補助 9,520万円

原油価格や物価高騰に直面する放課後児童クラブや保育施設など事業継続のため、光熱費や給食材料費の負担増加分を支援します。

■ 農業者の肥料高騰の影響を軽減 2,480万円

認定農業者等に対し、高騰した肥料費の一部について助成することで、地域農業の中心となる経営体の育成・確保及び持続可能な農業生産基盤の構築を図ります。

■ 地域公共交通事業者・運送事業者等への支援 8,535万円

コロナ禍による輸送量の減少や燃料価格高騰に伴い、地域公共交通事業者の運行維持及び運送事業者の地域物流維持に向けて支援します。

■ 製造業における省資源化・高効率化への支援 4,000万円

製造業における省資源化、高効率化のための設備導入経費を一部補助することにより、原油価格・物価高騰下における中小企業の負担軽減を支援し、GXを推進します。

■ 観光案内所リニューアル・DX観光PR事業 6,250万円

コロナ禍で低迷した観光産業の回復を図るため、DXを活用した新たな情報発信の拠点として観光案内所を整備するとともに、リニューアルに併せて観光PRを実施します。

■ 庁内電話通信網にスマートフォン導入災害にも強い通信環境の実現へ 4億1,951万円

庁舎電話交換機のクラウド化とともに、新たにスマートフォンを導入することにより、市民サービスの向上・DX推進による業務効率化、更には災害に強い通信環境を整備します。

■ 生活困窮世帯の光熱費等を支援 20億4,100万円

原油価格や物価高騰等に伴う生活困窮世帯の負担軽減を図るために、住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり5万円を支給します。

志翔会 議員紹介

- ・期数
- ・地区
- ・連絡先
- ・市議会役職
- ・常任委員会



安積町 ☎953-7885
広報担当・議会運営・総務財政(副委員長)
広聴広報(委員長)・特別委員会



三穂田町 ☎945-2015
市議会議長



緑ヶ丘 ☎942-7967
副会長
建設水道(委員長)



方八町 ☎943-3200
副会長
市監査委員・環境経済



大槻町 ☎951-2316
顧問(元議長)
議会運営・総務財政



安積町 ☎945-6566
会長
文教福祉



中田町 ☎922-9587
顧問(前議長)
環境経済・特別委員会(委員長)



田村町 ☎955-2172
顧問(元副議長)
文教福祉

9月定例会一般質問

概要

メタバースによる不登校の子どもの支援について

問 不登校の生徒に対する新しい支援策として、NPO法人カタリバが開発した「room-K」というメタバースで登校し、オンラインで授業を受けるサービスが注目されている。戸田市が2学期から導入をした。先行導入市の動向を注視し、本市でも導入を検討すべきと考えるが、見解は。

佐藤 徹哉



答 メタバースは、不登校児童生徒が授業を受ける方法となるだけでなく、児童生徒一人ひとりに応じた教育等、多様な学習機会となることから、本市教育委員会においても調査研究を進める。

【用語解説】メタバース

メタバースとは、一言でいうと「仮想空間」です。インターネット上に構成される3次元の世界で、アバターとよばれる自分の分身を介し仮想空間に入り、現実世界に限りなく近い状態で活動できます。

メタバース
仮想空間で分身同士が交流できる



出典：金融経済ナビ、証券知識普及プロジェクト

ハブラシリサイクルプログラムについて

問 ハブラシリサイクルプログラムとは、使用済みハブラシの回収・リサイクルする場を提供し、植木鉢などの新しいプラスチック製品にすることで、ごみの減量、循環型社会に貢献する事業である。そこで、SDGs未来都市の郡山市として、本事業に取り組むべきと考えるが、見解は。

答 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律39条では、製造業者が作成した自主回収・再資源化計画を国が認定した場合に廃棄物処理法の業の許可が不要となる制度が創設された。法の対象となるプラスチックの回収のため、製造事業者の自主回収を活用することは、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」達成に向けたプラスチックリサイクルの推進や、資源循環の取り組みに繋がることから、積極的に導入を図っていく。

モデルとなる町内会の取り組みの情報共有について

問 町内会では、ごみの問題が大きな課題である。そこで、モデルとなる取り組みをしている町内会の取り組みを集約・整理して各町内会への情報提供や、誰でも確認できるように市のウェブサイトへ掲載する方法も考えられるが、見解は。

久野 三男



答 ごみ集積所が適正に管理されている団体のルールなどの情報共有は参考になるこ

とから、今後、ごみの収集運搬業者や町内会等から情報を収集し、その管理方法などをSNS等へ掲載すると同時に個別の問い合わせに対し助言するなど、情報共有を図りたい。

郡山駅東口への観光案内所と物産館の設置について

問 今後、郡山駅東口にも観光案内所や物産館の設置を検討すべきと考えるが、見解は。

答 本市としては、現在の案内所が東北新幹線中央改札口やみどりの窓口に隣接しているとともに、駅東口への動線上にもあたることから、様々な観光情報を発信する上でも適しているとも判断している。また、本定例会では、現在の場所でのリニューアルに要する経費を計上しており、以上のことから、東口の観光案内所と物産館の設置については、新たな観光案内所の利用状況等を踏まえながら検討する。



現在の郡山市観光案内所
(郡山市観光協会ウェブページから)

写真で見る志翔会

地方議員研究会主催研修会

令和4年8月22・23日、地方議員研究会主催のセミナーに参加しました。京都市議会議員を5期務め、自治体の財政問題や先進施策に詳しい大正大学客員教授の村山祥栄氏を講師にDX、Park-PFIなどの先進施策の解説を受けました。



インターン学生の受入れ

令和4年9月定例会中、NPO法人ドットジェイピーで活動する福島大学の学生たちが、志翔会でインターン活動を行いました。民主主義の学校ともいわれる地方自治の現場の一端が学べたかと思えます。



決算特別委員会現地調査

令和4年9月定例会中に設置された決算特別委員会において、けんしん郡山文化センター、郡山中央図書館などの現地調査をしました。



令和4年郡山市議会報告会・意見交換会を開催します

日時 令和4年11月12日(土) 14:00 ~ 15:30

会場 郡山市総合福祉センター5階集会室 (メイン会場)

議会報告会 令和4年9月定例会報告

意見交換会テーマ ごみの減量について

会派所属議員出席予定者

塩田義智(市議会議員)、七海喜久雄(特別委員会委員長)、近内利男(建設水道常任委員会委員長)、森合秀行(総務財政常任委員会副委員長、広聴広報委員会委員長)



昨年の議会報告会・意見交換会の様子

参加申し込み等、お問い合わせ先

議会事務局 Tel:024-924-2521 Fax:024-938-2810

議会提案の条例案のパブリックコメントを募集しています

郡山市産米の消費拡大に向けた特別委員会(委員長:七海喜久雄、委員:森合秀行)においてまとめた「郡山市産米の消費拡大の推進に関する条例(案)」について、パブリックコメント手続(意見公募手続)を11月7日まで実施しています。詳しくは、右のQRコードにアクセスしてご覧ください。



編集後記

10月に入り朝晩の冷え込みも日ごと厳しくなっております、市民の皆さまにおかれましては体調を崩されませんよう元気でお過ごしいただけることを祈念し筆をおきたいと思えます。(森合秀行)

志翔会だより ■発行:志翔会 ■編集責任者:森合秀行 <http://www.shishoukai.jp/>

お問い合わせ・ご意見は:〒963-8601 郡山市朝日1-23-7 志翔会 ☎924-2536へ

